

2 令和5年度事業計画及び収支予算書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

1) 基本方針

令和4年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻によって世界情勢は不穏となり、食料原料や燃油高騰、ひいては公共料金をはじめとした物価上昇等、世界規模でのインフレが加速しました。日米の金利格差による円安は輸入品の価格上昇を招き、様々な食料品の値上げにもつながって国民生活に大きな影響を及ぼしました。

飼料原料のみならず、燃油等の価格上昇に伴って配合飼料価格はかつて例のないほど高騰しました。このことにより畜種を問わず畜産経営は大きなダメージを受けています。

これらのことから、配合飼料をはじめとした各種補填金制度が発動されるとともに、国は令和4年度第3四半期に配合飼料高騰緊急特別対策事業を実施し大分県も飼料価格差補てん事業積立金への助成を行う等、行政の動きも活発化しました。

また、令和4年度は高病原性鳥インフルエンザが猛威をふるい、本県でも2年ぶりに発生しました。国内では史上最悪の1,700万羽以上が殺処分され鶏卵価格の高騰や品不足につながっています。

このような状況の下、配合飼料原料の大半を輸入に依存している畜産経営にとって、飼料価格の安定はより一層重要なものとなっています。本協会といたしましては、配合飼料価格安定制度等を通じて、畜産経営の安定化と畜産物の供給に寄与していく所存です。

こうした中、本協会は

- ① 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金との連携のもとに、配合飼料価格差補てん事業に加入している畜産経営体への価格差補てん金の交付～国・県が行う配合飼料価格安定対策事業への取組
- ② 大家畜に対する指定助成事業（肉用牛肥育経営安定交付金制度、肉用子牛生産者補給金制度等）の受託
- ③ 畜産環境保全及び経営改善に係る施設機械リース事業を実施することによって傘下の畜産農家等の経営安定に資する等を基本に業務を遂行するものとします。

2) 事業計画

(1) 配合飼料価格差補てん事業

本年度は基本契約期間（R3-R6年度）の3年目の契約になり、契約数量は前年実績対比約2千7百トン増（+1.4%）の196,800トンを計画しています。

本年度においても、配合飼料価格差補てん事業実施の経緯を踏まえ、その業務を効率的に運営するとともに、国や県が行う配合飼料価格安定事業に取組みます。

畜種別契約件数及び契約数量の比較(年度当初)

	加入者の契約件数			加入者の契約数量(トン)		
	R4	R5	増減	R4	R5	増減
乳牛	46	42	△ 4	19,256	19,891	635
肉牛	147	153	6	47,315	49,389	2,074
豚	21	19	△ 2	62,515	64,360	1,845
採卵鶏	19	15	△ 4	27,020	26,134	△ 886
肉用鶏	13	13	0	37,943	37,357	△ 586
計	246	242	△ 4	194,049	197,131	3,082

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

本事業は畜産経営の安定に関する法律に基づき、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛生産者の経営に及ぼす影響を緩和するための交付金を交付し、肉用牛肥育経営の安定を図ります。

肉用牛肥育経営体の標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、その差額の9割を交付金として交付する事業で、(公社)大分県畜産協会からの受託事業です。

本年度は業務対象年間(R4-R6年度)の2年目にあたります。これまでどおり個体登録に係る書類の受理・送付及び契約肥育牛の販売確認等の事務受託を行うことにより、事業参加経営体の経営安定に資することとします。

なお、本年度は契約者数14経営体で6,600頭の個体登録を計画しています。

(3) 肉用子牛生産者補給金制度

本事業は、肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、その期間中に販売又は保留した際に生産者補給金が交付される事業で、(公社)大分県畜産協会からの受託事業です。

本年度は業務対象年間(R2-R6年度)の4年目にあたりますが、これまでと同様に、個体登録に係る書類の受理・送付、生産者積立金の請求及び契約肉用子牛の販売・保留の確認等の事務受託を行うこととします。

なお、本年度の契約生産者は3名で2,000頭の個体登録申込みを計画しています。

(4) リース事業

本事業は、畜産経営の生産性向上を図ろうとする方に対し必要な施設・機械等を貸し付ける事業です。畜産クラスター事業を活用する場合はクラスター協議会の設置が義務付けられているため、要望に沿うことができるよう関係機関に働きかけを行う等の対応をしていくこととします。また、畜産環境整備機構リース事業についても引き続き支援を行っていきます。